

全国学力・学習状況調査 結果と分析

日頃より本校の教育活動に対しまして、多くの保護者・地域の皆様から深いご理解とご支援といただいておりますことに心より感謝申し上げます。

今年度の調査結果からも、本校生徒が学力面においても内面においても大変成長していることがご理解いただけることと思います。生徒の成長を願い、粉骨砕身、教育活動にあたってきた本校教職員にとりましても、この上ない喜びです。改めて保護者・地域の皆様と共にこの喜びを分かち合いたいと思います。

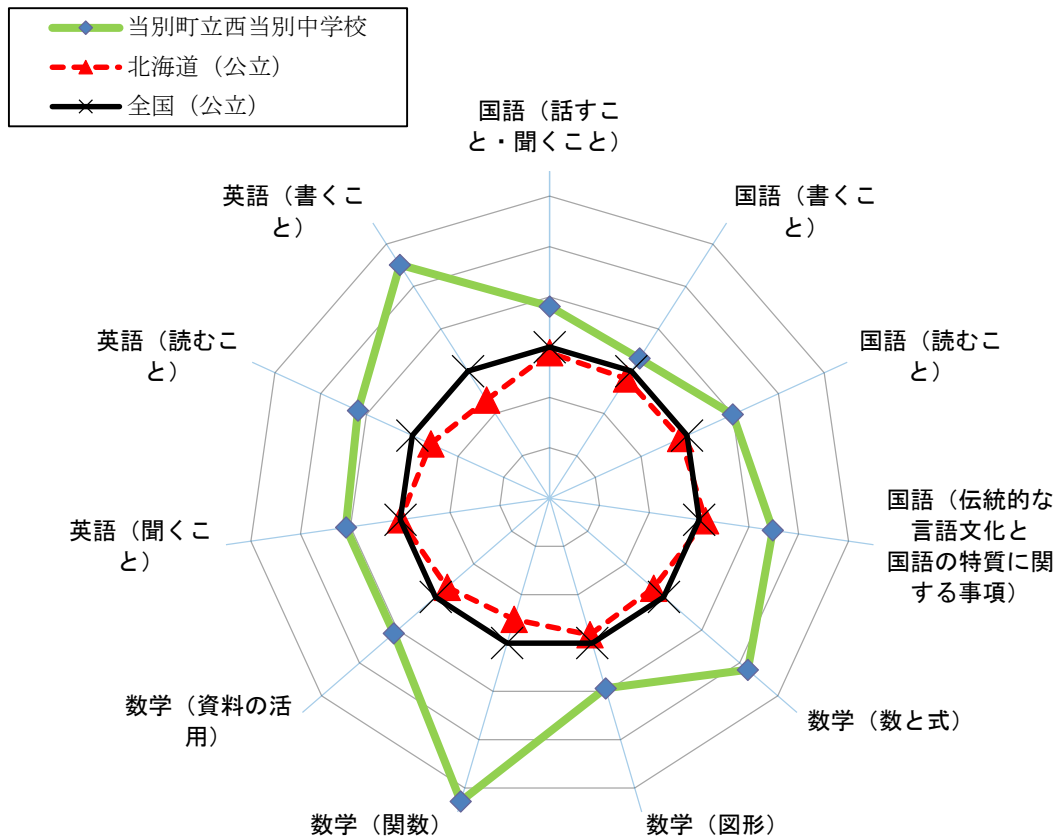
さて、言うまでもありませんが、生徒は学校での教育活動だけで育つものではありません。変化の激しい現代社会で、これからの時代を切り拓き、生き抜くために必要な資質・能力を生徒が身につけるためには、まずは保護者・地域の皆様との目標・課題を共有することが大切だと考えます。その上で、役割分担をしながら教育活動を進め、生徒一人一人の成長のために手を取り合うことが重要です。

学校としても、こうした教育活動や生徒の様子を定期的に調査・分析し、皆様からご意見を伺いながら、長期的・短期的な改善策を講じて、さらに生徒の成長へと結びつけ「あいさつが響きわたる学校づくり」を進めて参ります。

引き続き、本校の教育活動に対する皆様からの温かいご理解とご支援を重ねてお願いいたします。

当別町立西当別中学校長 野村 誠

教科全体の結果概要（全国平均を基準とした場合の領域ごとの正答率）



■国語：全国平均を上回る結果となりました。

① 領域別結果

すべての領域で全国平均を上回りました。特に「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では全国比約 15 ポイントも上回る結果となりました。

② 改善・向上策

- *自分の考えを基にした話し合い活動を意図的・計画的に行います。
- *伝えたい事実や事柄を相手に分かりやすく伝えられる力を高める授業を工夫します。
- *授業の振り返りを行い、学習内容の定着を図ります。

■数学：全国平均を大きく上回る結果となりました。

① 領域別結果

すべての領域で全国平均を大きく上回りました。苦手な領域がなく、基礎学力が定着していることが伺えます。

② 改善・向上策

- *自分の考えを基にした話し合い活動を意図的・計画的に行います。
- *基礎学力の向上がさらに図られるよう、個に応じた学習指導を行います。

■英語：全国平均を大きく上回る結果となりました。

① 領域別結果

すべての領域で全国平均を大きく上回りました。特に「書くこと」は全国比 25 ポイントも上回る結果となりました。英語力の強化に向け、小学校からの取組の成果と考えます。

② 改善・向上策

- *自分の考えを伝えたり、理解する等のコミュニケーション活動を意図的・計画的に行います。
- *基礎学力の向上がさらに図られるよう、個に応じた学習指導を行います。

生徒質問紙の状況（学習習慣・生活習慣・学習意欲・自尊意識・規範意識・地域との関わり）

■学習習慣・生活習慣

- ①学校の授業時間以外に、普段、1日1時間以上、勉強をする生徒の割合が約8割となっており、且つ、2時間以上勉強する生徒の割合が46%と全国平均を大きく上回っています。
- ②自分で計画を立てて勉強をしている生徒の割合が全国平均を下回っています。
- ③「朝食を毎日食べている」「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」「毎日、同じくらいの時刻に起きている」という項目で、全国平均を下回っています。

■学習意欲

- ①「生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思うか」の問いに対して、およそ8割の生徒が肯定的に自己評価しています。
- ②「授業で学んだことを、ほかの学習に生かしているか」の問いに対する肯定的回答は全国平均を上回っています。
- ③「授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思うか」との問いに対して、「あてはまる」と回答した生徒の割合が全国平均を下回っています。

■自尊意識・規範意識・地域社会との関わり

- ①「自分には、よいところがあると思う」「将来の夢や目標を持っている」など自尊意識に関する設問では、全国平均を大きく上回っています。
- ②「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う」「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思う」との設問には90%以上の生徒が肯定的回答をしています。
- ③「学校の規則を守っている」「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」という規範意識を問う設問では、95%以上の生徒が肯定的回答をしています。
- ④「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している」との設問に「あてはまる」と回答した生徒の割合が全国平均を大幅に下回っています。
- ⑤「人の役に立つ人間になりたいと思う」という設問に対する肯定的回答は全国平均を上回っています。一方、「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」との設問に対する肯定的回答は全国平均を大幅に下回っています。

今後の取組について

□全教職員で授業改善に取り組み、生徒が「分かった!」「できた!」と実感できる授業を目指します。

- ・小中9年間を見渡し発達段階に応じた授業形態の工夫（板書の工夫、ノートの取り方、ペア・グループワーク等）
- ・主体的な学びとなる課題や発問の工夫 ・振り返り活動、教え合い・学び合い活動、補充学習の充実

□学習機会・学習環境の充実に努めます。

- ・放課後学習会、テスト前学習会、長期休業中の学習会などの開催

□個に応じた指導の充実に努めます。

- ・習熟度別やT T指導、非常勤講師、支援員、ALT等の活用

□家庭学習の取組を支援します。

- ・家庭学習の取り組み方について指導 ・家庭との連携 ・生徒会活動など自主的活動の支援

□コミュニティ・スクールや小中一貫教育の組織を生かし、生徒が小学生や地域の方々と、さらに意義のある活動ができるように努めます。

- ・児童生徒に身につけてほしい資質・能力の共有 ・小学校行事への参加 ・地域人材や資源の活用
- ・地域行事へ積極的な参加

□道徳教育をさらに充実させます。

- ・日常における道徳的価値の共有 ・道徳授業の研修と実践